

第2回福井市地域生活交通活性化会議 議事要旨

日時	令和2年1月23日(木) 13:30~15:00
場所	ハピリン4階 福井市総合ボランティアセンター研修室
議題	別添「次第」の通り
出席者	別添「座席表」の通り
	<p>【協議事項】</p> <p>議案1：地域公共交通確保維持改善計画に係る事業評価について (事務局が資料1に基づき説明)</p>
座長	別紙1の⑥事業の今後の改善点についての記載内容は、各地域の運行協議会から出た意見が反映されているのか。
事務局	運行協議会から出た意見のほか、市として実施すべき取組みとして、地域と路線のあり方について考える機会を設け、公共交通利用の意識付けを図ることについても記載している。また、京福バスが運行する路線バス、地域コミュニティバスについては、Googleの経路検索に対応予定であり、この点も利便性向上に繋がるものと考えている。
委員	複数ルートがある路線については、路線全体ではなく、各ルートの現状把握、傾向分析などを行っているか。ルートにより増減が異なるのであれば、減少の大きいルートについて、改善点の部分で言及することで、よりよい評価になると考える。
事務局	ルート毎に分析をおこない、別紙1について追記する。追記内容については事務局に一任する形でお願いしたい。
委員	福鉄循環線の鉄道との乗継利用目標について、麻生津は達成、清明は未達成となっている。麻生津は駅の近くまでバスが運行しているが、清明は駅への乗り入れをしていないため、乗継のしやすさや認知度に差があることが要因として考えられる。また、バスとの乗継について、例えばベル食品館前では、赤十字みのり乗合タクシー線との乗継になるが、そこには乗継割引は含まれていないのか。
事務局	清明が未達成となっている要因としては、利用者の大半が目的地としているベルが近くに立地しているという点も考えられる。割引は鉄道との乗継利用のみである。
委員	バスとの乗継割引についても検討してほしい。また、ROBAの活動としてベルを中心とした乗継利用の周知を実施しているが、乗継の案内表示など不足してい

	<p>る部分もあり更にPRしていくべきだと考えている。</p>
事務局	<p>鉄道やバスとの乗継についての案内や周知については、課題として認識しているため、今後も継続的に事業者や地域と取組みを実施していく。</p>
委員	<p>免許返納支援事業について、ほかの自治体では行政費を投入し、手厚いサービスを実施しているところもあるので、支援の拡充も検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>本市の免許返納支援事業では、公共交通利用のきっかけ作りの意味合いでバスや鉄道の利用券、割引証などを交付している。今回の意見や他市町の事例なども参考にし、今後の支援のあり方について検討していきたい。</p>
委員	<p>以前『タイムリーふくい』という番組の中で、公共交通の乗継利用の紹介を行った。沿線住民からの反響があり、新たな利用方法の発見があったといった声も寄せられた。</p>
座長	<p>各地域の公共交通について沿線住民の利用パターンなどを、地域住民で共有できるように紙媒体で紹介するといった取組みも利用促進策として面白いかもしれない。また運行協議会などで検討していただきたい。</p>
座長	<p>他に意見がなければ、議案1について承認してよろしいか。</p> <p>(異議なし、承認。)</p> <p>議案2：森田地域コミュニティバスの試行運行延長及び運行計画変更について (事務局及び森田地域コミュニティバス運行協議会が資料2に基づき説明)</p>
委員	<p>三ヶ村での京福バス路線との乗継についても検討してはどうか。</p>
森田地域コミュニティバス 運行協議会 (オブザーバー)	<p>指摘された内容については運行協議会の中でも論点となっている。新幹線開業に伴い、道路事情も変化することが考えられるため、そのような点も考慮しつつ、今後の運行について検討していきたい。</p>
座長	<p>地域コミュニティバスの役割の1つとして地域コミュニティの醸成・活発化というものが挙げられる。そのような観点では、子ども見守り隊に限定せず、地域内の各種団体との連携を深めていくということは非常に良いことだと考える。</p>

委員	運行協議会の構成員はどのようになっているか。
運行協議会	自治会連合会や社会福祉協議会など、地域活動に関連する各種団体役員で構成されており、利用促進に向けた取組みを行っている。
座長	他に意見がなければ、議案2について承認してよろしいか。 (異議なし、承認。)
	議案3：清水山乗合タクシー線の事業計画変更について (京福バスが資料3に基づき説明)
委員	停留所の移動について、福井南警察署の確認は取っているか。
委員	確認済みである。
委員	停留所の位置変更によって、利便性も向上し、これから利用してもらうことが重要であると考えている。JR越前花堂駅は無人駅であるが、駅構内でバスへの乗継案内などはしているか。案内がないのであれば設置を検討していただきたい。
委員	駅から乗継をする利用者はどれほどいるのか。
委員	朝の時間帯だとCネットふくいや福井南特別支援学校に通う利用者が20名前後いる。
委員	既に駅構内に案内や広告などの掲示物が複数ある。掲示物が多すぎると、かえって利用者に混乱を招くということも考えられるため、どれを優先的に掲示すべきか、実態を踏まえて検討していきたい。
座長	他に意見がなければ、議案3について承認してよろしいか。 (異議なし、承認。)
	その他

委員	<p>神奈川県での死亡事故を受けて、国土交通省主導で危険なバス停についての調査を進めている。例えば、バス停車時に車体が横断歩道や交差点にかかるようなバス停については公表を行い、対策を検討していく予定である。今後の検討の中で公共交通会議の場を借りて協議を進めていきたいと考えているので、その際は忌憚なき意見を賜りたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----	---